



2008年1月1日発行
発行人：村尾 憲一郎
発行所：〒650-0024 神戸市中央区
海岸通8神港ビルヂング509
TEL：078-393-0050
FAX：078-393-0051
E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
URL：<http://www.kobekeio.org/>
編集：堀 友子

謹 賀 新 年

「新年ご挨拶」

慶應義塾 150 周年

神戸慶應倶楽部会長

広瀬 努 (昭 45 商)

新年あけましておめでとうございます。



昨年の世相を表す漢字は「偽」で政治では年金問題、食品では産地や賞味期限など次々と「偽」が発覚して何を信じてよいのかわからない1年でした。また科学の分野では京都大学の再生医科学研究所の山中伸弥教授(神戸大学

医学部出身)がヒトの皮膚細胞から人工多能性幹細胞(IPS細胞)の開発に成功し大きく報道され、文部科学省の世界トップレベル研究拠点として10年間で200億の予算を投入して今年度は研究をすすめていこうとしています。再生医学の分野では神戸の理化学研究所や慶應義塾の医学部が先端の研究をすすめており、今後は京大の研究拠点と共同研究がおこなわれ、世界の先導的な役割をはたすものと思われる。

2008年はいよいよ慶應義塾が150周年を迎える年になります。年末には大阪に福澤諭吉先生誕生の記念碑が朝日放送のご好意により元の位置に建立されました。今年度は新しくできる大学院メディアデザイン研究科、システムデザイン・マネジメント研究科の大阪拠点ができ、関西において記念すべき年になると思います。

150周年を記念してワンダーフォーゲル三田会が中津から三田への1500キロを歩く企画があり、神戸でも協力する計画が進んでいます。記念事業がいろいろと実施されると思いますが、皆様のご協力で歴

史に残る年にしたいと思います。

昨年は役員の方々や事務局の糸海さんに大変お世話になり厚くお礼申し上げます。

特に村尾幹事長には倶楽部や例会の運営に、また堀副幹事長にはBRBの会報の発行でご苦労をおかけしました。また会員の皆様には150周年募金やオークションへのご協力ありがとうございました。同好会活動では、昨年末に出席させていただいたジャズ同好会の忘年会は会員でバンドも構成し50名近く参加され、世話役の近藤さんのおかげで本当に楽しい会でした。絵画では展覧会を見せていただきましたが、会員の成長ぶりには驚かされました。囲碁、ゴルフなど同好会のお世話役の方にもお礼申し上げます。新しいメンバーが18年度は25名、19年度は14名と入会していただきましたが、よりいっそう拡大もすすめていきたいと思っています。今年度も引き続きご協力よろしくお願ひします。例会や同好会への参加そしてBRBへの寄稿など積極的に活動していただいで多くのメンバーとの交流を楽しんで下さい。

慶應義塾150周年の2008年が皆様にとって、そして神戸慶應倶楽部、慶應義塾にとってすばらしい年でありますように願っています。

《Keio Top News》

「福澤諭吉誕生記念碑」の完成記念神事挙行

<http://www.keio.ac.jp/news/071212.html>



慶應義塾公式ホームページに詳しい記事が載っています。ぜひご覧ください。



「幹事長挨拶」

村尾 憲一郎 (昭58商)

皆様、新年明けましておめでとうございます。



旧年中は、会員各位のご支援により、多数の新会員をお迎えし、大過なく倶楽部行事を運営できましたこと、幹事会を代表して厚くお礼を申し上げます。世の中の景況感も良くありません中、衆参政局は不安定、

食品偽装問題やサブプライムローン問題などが持ち上がり、いささかすっきりしない越年となりましたが、皆様にとっては健康で希望に満ちた子年となりますようお祈りしております。

さて、神戸慶應倶楽部は、広瀬会長体制2年目の終盤に差し掛かり、本年5月には倶楽部役員の定例改選期を迎えます。また、慶應義塾創立150周年もいよいよ本番年度となりますので、様々な記念事業に絡んで、新年早々から行事も目白押しとなり、会員各位をはじめとする塾員におかれましては、話題に事欠かない1年になることでしょう。

かくいう私も124三田会ということで、卒業25年の節目に重なりますし、大学日吉記念館も取り壊し予定のため、今の施設での最後の卒業式になるので、関東在住の親しい仲間から同窓会をしようと誘いを受けて盛り上がっています。これからも神戸慶應倶楽部をホームグラウンドとして集い語り、ますます社中の絆を深めて頂ければ幸甚です。本年もどうぞよろしく願いいたします。

～～クリスマス家族例会レポート～～

中川 委紀子 (昭48文大院)

住宅街にクリスマスイルミネーションが目立ちはじめた12月8日。神戸慶應倶楽部クリスマス家族例会が神戸ポートピアホテル本館「布引・北野の間」で開催されました。今年のクリスマス会は、☆ジャズライブ&オークション☆《出演：ジャネット・啓子・カワスジ、福井 有、岩崎恵子、村松泰治、田中ヒロシ/オークション司会：浦上忠文会員&同夫人》が



企画され、神戸の地にふさわしく、華やかで心なごむ素敵なひと夜をいただきました。

6時30分クリスマス

会は、村尾憲一郎幹事長の司会、広瀬 努会長のご挨拶ではじまりました。

会長は昨11月18日に慶應義塾創立150年記念イベント「関西合同三田会 in 和歌山」が成功裡のうちに行われ、来年の150周年記念関西合同三田会には福澤諭吉先生が青春期の大切な時期を過ごされた大阪で開催のこと、隣地神戸の塾員として記念事業への一層の協力を誘い、神戸慶應倶楽部会員の気持ちを鼓舞された。

次いで、阪本副会長のご発声で乾杯！ 福井さんは、ジャズボーカリストとしてすでにCDを発売され趣味の域を超された方。参加者はクリスマスメロデーで至福の音色をいただきました。その後いつも素敵な先輩・青戸さんから貴重な冊子「三田にきらめく三色旗」、西脇順三郎、戸板康二らの珠玉の随想集（複製）が贈呈、倶楽部に架蔵されることになりました。

そして、中内さんのご厚意による美味美食に満たされた頃、恒例のオークションが浦上夫妻の「神戸倶楽部に愛を・・・」の言葉で快調に進行しました。



“皆さ～ん！早々ですが来年のために人気商品を集めておきましょうね～愛をこめて～！”

無事、目標額を達成する284,500円の愛が倶楽部運

営費として寄せられました。

最後に閉会辞として佐井副会長に日吉の並木の生長を愛でるよいお話を頂戴して、「若き血」合唱。

参加者70余名は落札品を手に、社中愛を胸に、散会となりました。



《ありがとうございました》

アサヒビール神戸支社様よりビール・ウーロン茶の協賛をいただきました。また会員各位からのオークション景品ご提供に厚く感謝申し上げます。（幹事長）

当日のスナップ写真を倶楽部に掲示しています。ご希望の方にはプリントまたはメール添付送信します。（写真撮影：堀雅博幹事）

連載

『塾野球史（昭和前半）をひもとく』

———兵庫県出身の選手を中心に———

市居 嘉雄（昭 29 経）

【〔第 4 回〕】（文中敬称略）

◎昭和 14 年（1939） 主将：楠本保（～15 年）

<新入部員> 阪井盛一（滝川中）

春季は早慶によって王座が争われ、第 1 戦は慶應先勝、第 2 戦は早大が勝ち、2 シーズン制としては昭和 6 年秋以来 8 年目 13 シーズンぶりの優勝決定戦は、早大に 5 対 4 で敗れて 2 位となる。

秋季は文部省の方針により 1 ヶ月間でリーグ戦が終わった。エース高木の好投と百万ドル内野陣の攻守、上位打者の好打で早大との優勝決定戦にも勝ち、7 勝 1 敗で優勝。

新入の阪井は昭和 11 年春の選抜と翌年の春と夏の大会で甲子園に捕手として出場、13 年春は捕手で 3 番打者として活躍した（昭和 24 年監督に）。

◎昭和 15 年（1940）

<新入部員> 別当薫（甲陽中）

春季は文部省の野球弾圧が激しくなり、開幕前日には全員明治神宮に参拝、入場式は海軍軍楽隊が先導した。慶明立 3 校が 7 勝 3 敗で同率 1 位となり、優勝預かりとなった。

秋季は文部省の方針によって対戦 1 試合制となり、1 ヶ月間の短いシーズンとなった。3 勝 2 敗で早大と共に 2 位（明大優勝）。塾の根津右翼手が 4 割で首位打者となる。

ところで、新入の別当は昭和 12 年春の選抜、翌年の春と夏の大会に出場、剛球投手で 3 番打者として甲陽中チームの主軸で活躍した。塾に入ってから成績はその年度に記述する。卒業後は社会人のオール大阪を経てプロ野球阪神に入団、毎日に移り本塁打・打点で 2 冠王となった。のち近鉄、大洋、広島監督となり、多くの後進を育てた。昭和 63 年（1988）1 月に野球殿堂に入った。

◎昭和 16 年（1941） 主将：高木正雄

<新入部員> ナシ

ラインアップ

二	宮崎
遊	大館
三	宇野
一	飯島
右	楠本
中	水野
捕	近藤
捕	井上
投	高木
左	寛



阪井盛一



別当 薫

春季は平日の試合が禁止され、降雨のため日程が再々変更された運不運が優勝を左右した。慶應は投手陣が崩れ 5 勝 3 敗 2 分で 4 位（優勝法大）となったが、山村投手の好投が目された。塾の大館が 0.394 で首位打者に。

秋季は文部省の意向により 1 本勝負、試合は日曜、祭日に限られる日程で行われ、1 日に 6 校が登場して 3 試合を行った。また内野席は学生と招待者のみ、外野席だけ有料入場券が発売された。3 勝 1 敗 1 分で 2 位（優勝早大）。

この年、現行の新塾歌（作詞：富田正文・作曲：信時潔）が新しく制定されたが、リーグ戦でいつから歌われるようになったかは明らかではない。戦後、慶早戦が復活してからではないかといわれる。

◎昭和 17 年（1942） 主将：（春）宇野光雄（秋）山村吉隆 <新入部員> 菅瀬栄三（神戸一中）

春季は山村投手の奮投と阪井捕手の好リード、別当外野手が 5 割で首位打者となるなどし 7 勝 3 敗で 2 位（優勝明大）。

秋季は宇野ら 7 名が繰り上げ卒業のため 2 勝 3 敗で 5 位（優勝早大）。

◎昭和 18 年（1943） 主将：（春）山村吉隆・（秋）阪井盛一 <新入部員> 松尾俊治（灘中）

4 月 7 日、文部省から六大学リーグ解散の通達があった。9 月卒業の選手達の送別試合が傷病慰問兵を兼ねて日吉球場で行われ、12 対 12 で引分け。なお、新入の松尾は卒業後スポーツ記者となり、後年『慶應義塾野球部史』の編集委員長となる。

秋に就任の阪井主将らの奔走もあり、10 月 16 日早大の戸塚球場で歴史的な「学徒出陣壮行早慶戦」が行われた。早大 10 対 1 慶應。勝敗を度外視して、両校学生がお互いに励まし合い、「海行かば」の厳粛な歌声が早稲田の柱にこだましたという。この試合が戦時中の最後の試合となった。

なお、昭和 10 年から 14 年頃にかけて活躍した中田は、18 年 7 月 22 日ニューギニア沖で水上機母艦と運命を共にし、また楠本もその翌日中国北部において奇襲攻撃を受け戦死した。（つづく）

会員だより

《震災復興》

土井 正孝 (昭 63 商)

阪神・淡路大震災復興イベントである神戸ルミナリエも終了した 12 月 23 日・24 日と、新潟県柏崎市刈羽村を訪問しました。皆さんご承知の通り、柏崎市刈羽村は 2007 年 7 月 16 日の中越沖地震で大きな被害を受けた場所です。最近はその状況が報道されることも少なくなり、復興の状況が十分伝わってきませんが、実際訪問してみると、半年近くたった今でも、倒壊した建造物、ブルーシートを屋根にかぶせている家、通行止めになっている道路や亀裂の入った道路、壊れたままのブロックなどが散見され、被害の大きさはもちろん、まさに復興の途上である状況を窺い知ることが出来ました。また、この地震では、こうした直接的な被害の他に原子力発電所に関する風評が地域に被害をもたらしていました。柏崎市刈羽村の辺りは、海水浴客で賑わう海水浴場がいくつかあるようですが、今年はその数もまばらで、旅館・ホテルは 1 万人を超えるキャンセルを受けたそうです。地元の方だけでなく、関東地方からの買い物客で普段は賑わっている魚市場も閑散とした日が続いているそうです。風評の原因となった原子力発電所も、補修自体が来年半ば頃まではかかる見通しで、世界最大規模の出力（約 820 万 KW の出力で発電量としてはおよそ東北 6 県分）を誇る原子力発電所の再開にも当分時間がかかりそうな様子でした。

今回の訪問は、このような地域の風評被害を少しでも払拭し、復興に対して希望と勇気を与えられればとの目的で日本プロ野球選手会（会長：東京ヤクルトスワローズ宮本慎也選手）が行った中越沖地震復興イベント「ベースボールクリスマス '07 in 中越」に参加することが目的でした。

イベントには、プロ野球側は宮本選手会長はじめ、全球団から現役選手を中心に OB・審判員の方々総勢 30 名以上が参加しました。プロ野球にふれる機会のない街である刈羽村で行ったキャッチボールイベントには、村の人口 4800 人に対し 2000 人以上の参加者があり大いに盛り上がり、そこに参加した子供たちの歓声と笑顔は忘れられないものとなりました。

今回のイベントは、知名度があるプロ野球選手を通して地域復興を、というものでありましたが、同じく地震の被災地に住むものとして、自分の手で、

何か小さなことでも貢献出来ることをしなければと強く感じた訪問になりました。

同好会だより

イーゼル会

《今月の絵》



前田 茂登子

KKJC

♪忘年ジャズパーティー♪

福井 有 (昭 49 商)

12 月 12 日芦屋の「げんぶ堂」という蕎麦屋を借り切って、KKJC の忘年ジャズパーティーが行われるというので出かけてみた。遅れて入ってみるともう席は満杯で、47 名のメンバーが集まっておられた。

世話人の近藤正さんのご挨拶に続いて食事、そしていよいよバンド演奏が始まる。

まず塾員でもあられるプロのバイブニスト、鍋島直昶氏をリーダーにプロのカルテットによる“Something Stupid” が披露された。続いて 39 年卒のメンバー中心で編成された《サンセット 77》の演奏。バンドリーダーの一宮弘忠氏による曲紹介の後“サンセット 77”を皮切りに“ロンリーワン・チャイナメロディー・ジェラシー”など 8 曲披露された。間に浅沼夫妻によるタンゴが踊られたり、宮本美代子さんの“I know why”、團裕子さんの“I only have eyes for you” のボーカルも披露された。

休憩の後再びバンドメンバーによる“A 列車で行

こう”他6曲。私も飛び入りで“酒とバラの日々”を歌わせてもらった。



最後は全員でクリスマスメロディーを歌い、大いに盛り上がった。飛び入りにもかかわらず、ちゃっかり持ち込んだ私家版CD、デュエット・ラブソングスを7枚も購入してもらった。

次回は来年夏に会が開かれるとのことでした。

囲碁同好会

◎12月7日(金) 通常例会 出席者：浅沼・安永・小林・林・金刺・増井・丸山・植村・鈴木・菊田の10名。師走恒例のルミナリエを見ながら色々思いを馳せて散会。

◎12月22日(土) 第1回囲碁大会を実施
参加者：草野・小林・林・増井・丸山・石上・鈴木・菊田の8名。スイス方式で1人3回戦の熱戦が繰り広げられた。最年長の石上桂一氏が年の功か？見事3勝を上げ優勝。夕方から場所を変え忘年会。五代・金刺・植村各氏も合流。表彰式と宴会で賑々しい会となる。

囲碁のお好きな方ご連絡ください。

世話人：菊田義正(昭42商)

会員の輪

《甚だ僭越ながら自己紹介させていただきます》

山中 勸(昭63法)

昨年8月に入会させていただきました山中と申します。皆さま初めまして。

昭和41年3月生まれの41歳。現在、株式会社伍魚福(ごぎょふく)の社長を務めております。いかなごのくぎ煮、明石だこのやわらか旨炊きなど神戸の

銘品から、キャビア・フォアグラ・からすみ・このわたなどのチルド製品やドライ製品に至るまで400種類以上を取り扱う珍味のメーカーです。

学生時代は体育会洋弓部に所属し、4年間アーチェリー三昧の毎日でした。オリンピック銀メダリストの「中年の星」山本博さんが当時宿敵日本体育大学に在学中で、団体戦ではいつも苦杯をなめておりました。

大学卒業後、伊藤忠商事に入社し、法律部門やアパレル部門で仕事をしておりましたが、平成7年の阪神大震災を契機に退職し、当時父が社長をしていた伍魚福に入社しました。営業部長などを経て、平成18年3月より社長に就任し、現在新米社長2年生です。

大企業は景気が良いようですが、中小企業、特に我々食品メーカーにとっては昨年は偽装問題の多発や、原料価格の高騰(特にいかなごの不漁には参りました)など嵐のような1年となりました。今年も当社としては価格改定などさまざまな課題が山積していますが、全社一丸となってお客様にもっと喜んでいただけるよう努力してまいります。

さて、先日卒業以来ほぼ20年ぶりに日吉キャンパスを訪れました。洋弓部の当時の監督を囲む会が日吉のファカルティラウンジ(来往舎という建物内)で開催されたのです。新しい建物は建っているものの、キャンパスはそのままで懐かしかったです。学生時代の仲間もさまざまな道で活躍しています。改めて慶應の良さというものを感じました。

この写真は、昨年家族で中国・北京へ行った際に故宮(紫禁城)で撮ったものです。一緒に写っているのは、今年高校



1年になる娘、中学1年になる長男、幼稚園の年中組になる次男です。私自身は、中学時代に読んだ吉川英治の「三国志」以来、中国に興味を持ち、大学の卒業旅行で20日間彷徨ったのが始まりで何度も中国を訪れています。昨年10月には神戸市の訪中団にも参加し、神戸空港から天津へ行ってきました。

また時間を見つけて倶楽部の例会にも参加させていただきたいと思っています。皆さまのご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。

※ブログも書いてます。 <http://gogyofuku.co.jp/kan/>

～～1月新年例会のご案内～～

日時：1月25日（金）18：30（受付18：00～）

場所：旧居留地「十五番館」

<http://www.to-ho.co.jp/cafe/>

〒650-0035 神戸市中央区浪花町15番地

TEL:078-334-0015

会費：会員（会員家族） ¥6,000 ビジター：¥7,000

株式会社トーホーの前田剛資会員にお世話を頂き、
久々に神港ビル北側向かいにある十五番館で開催し
ます。新しい門出を皆様とお祝いしたく、多数のご
参加をお待ちしています。

今年度は賀詞交歓会は開催されませんので、ぜ
ひこの新年例会にご出席ください。

出欠の締め切りは、1月18日（金）です。

当日飛び込みで出席される方が見受けられますが、
食事数に影響がありますので、必ず事前にご連絡
をお願いいたします。

～～事務局よりお願い～～

◆例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都
合がありますので、必ず事前に事務局までお申し
込みをお願いします。なお、当日のキャンセルに
つきましては会費全額を頂きますのでご了承ください。

◆住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場
合は、必ず事務局にお知らせください。

◆12月29日（土）～1月6日（日）、事務局は休ま
せていただきます。

普段、会の行事に出席できない方、遠隔地の方も誌
面に登場して参加してください。皆さんの投稿をお
待ちしています。

堀 友子 tomoko@1968.jukuin.keio.ac.jp

～～今後の行事予定～～

1月10日（木）福澤先生誕生記念祝賀会 大阪
◆参加希望の方は2007年12月号を参照の上、
直接大阪慶應倶楽部にお問い合わせください。

2月度例会は休会します

3月19日（水）3月度例会 東天閣
（詳細は次号でお知らせします。）



文ちゃんのなごみコーナー

「お正月」

冬休みは、一日に何回もお使いにいかされます。
市場には、みかんや新巻きが元気よく輝いています。
お店の人とのやり取りが楽しくなってきたりします。
おそうじもやりだすまではおっくうだけど、やり始
めると勢いが出てくるのが分かってきます。
あわただしいのが楽しくなります。
ちょっぴり大人になった気もします。
家の中が盛り上がってきます。
さあ、お正月です。
みんなの顔が輝いています。にこにこしています。
なにか愉快なことが始まりそうな気がします。
海に出てみます。
暖かいおだやかな光が平等に降り注いでいます。
気持ち良く光っています。
小さいけれど、こざっぱりしたとした幸福の気分。
（浦上忠文著「心のわすれもの」より）

編集後記

○この一年間も大過なく（多
分？）発行できました。これも
皆さんのご協力あったのもの、
心より感謝申しあげます。本年
も引き続きご指導ご鞭撻のほど、
よろしくお願い申しあげます。
○皆さんの投稿にもあるよう
に亥年の漢字はいやな字でし
たね。でも我らのキーワード、
子年はチュージツに「真（まこ
と）」でいきましょう。

（ほ）